

久留米入城400年記念

京町校区の見どころ知りどころ

### 第1回 有馬家霊屋

2021年は、久留米藩初代藩主・有馬豊氏（とよゆじ）が初めて久留米城に入ってから、400年の節目にあたります。これを記念して、全8回にわたり、久留米藩時代にまつわる京町校区の歴史遺産を紹介いたします。各回、テーマとする歴史遺産について、それぞれの専門家が見どころや、知りどころを語ります。

第1回のテーマは、梅林寺にある「有馬家霊屋（たまや）」です。

梅林寺は久留米藩を治めた大名・有馬家の菩提寺で、「有馬家霊屋」は平成30年12月に国の重要文化財に指定されました。

今回ゲストの有富さん（久留米市都市計画課）は、学生時代から古い社寺建築の調査に参加してきました。市職員になる前に、「有馬家霊屋」の調査にも関わっていたそうです。

Q.「有馬家霊屋」とは？

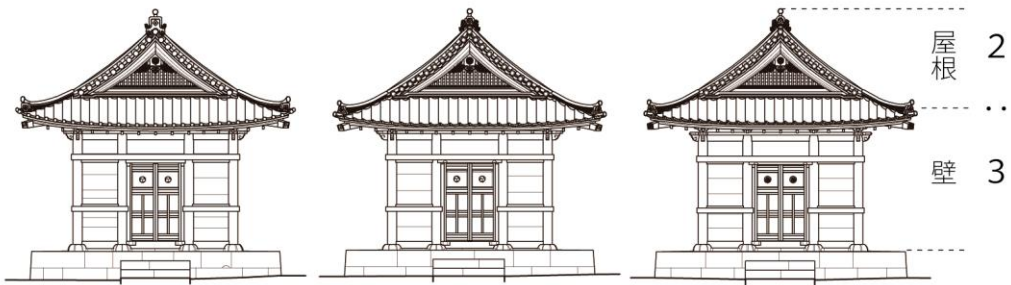
（有富） 初代豊氏やその父で藩祖則頼（のりより）などを供養し、祀っている建物です。いまから400年ほど前に建てられた、久留米市内で最も古い建物（木造建築）で、全部で5棟あります。

Q. 建築の見どころ、知りどころは？

（有富） 屋根のちがいです。上段の3棟と、下段の2棟では、図のように屋根と壁の高さの比率が違います。下段の2棟は1・1に近いのですが、上段の3棟は2・3と壁が高くなっています。建物自体も下段が大きく重厚感があります。造りの違いは、建物の役割が違うためです。下段の内部には石造の墓塔があります。上段には位牌を納めた宮殿（くうでん）という豪華な仏壇が入っていて、特に「位牌廟（いはいびょう）」と呼びます。

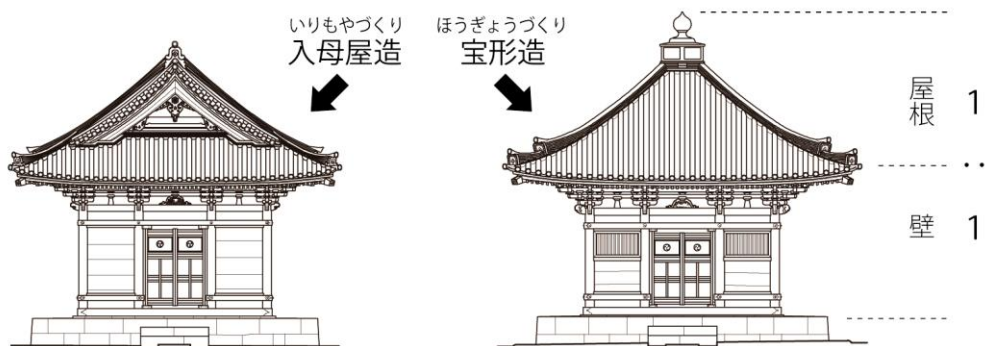
また現在、屋根の形は下段の1棟だけ宝形造（ほうぎょうづくり）といい、頂点に宝珠（ほうしゅ）と呼ばれるタマネギのような珠が載っています。それ以外の4棟は入母屋造

### 有馬家霊屋5棟



瓊林院位牌廟 (2代藩主有馬忠頼) 春林院位牌廟 (初代藩主有馬豊氏) 長壽院位牌廟 (初代藩主有馬豊氏の正室)

【上段】内部に宮殿くうでん



梅林院霊屋 (納塔廟) (藩祖有馬則頼他) 春林院霊屋 (納塔廟) (初代藩主有馬豊氏他)

【下段】内部に墓塔

（いりもやづくり）といえます。屋根の形の違いは、上段にあがつて下段2棟を見ると、良く分かりますよ。

通常、霊屋の内部は、見る事ができません。「京隈かいわいめぐり」などの特別公開が行われる際には、ぜひ、ご覧ください。

（聞き手） 市文化財保護課 穴井